



JA全中「ごはんわたし」作文コンクール 第3位

全国農業協同組合中央会（JA全中）が主催する、第42回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの作文部門で、松尾日与莉さん（口之津小4年）が3位にあたる中央会会長賞を受賞しました。

実家がお米屋の松尾さんは「私も、お客さんにおいしいお米を食べてもらうよう工夫する米屋になりたい」とつづりました。おめでとうございました。



錦鯉品評会の2部門で総合優勝

昨年12月に島原市で開催された、九鱗会長崎県支部島原分会の第13回錦鯉品評会で、小関昭彦さん（西有家町）が、成魚総合優勝および全体総合優勝の2冠に輝きました。

小関さんは5年ほど前に九鱗会の島原分会に入会し、これまで試行錯誤を重ねながら鯉の育成を行ってきました。

今回の優勝を受け、小関さんは「率直にうれしい。今の夢は優勝した鯉の稚魚を育て上げること」と話しました。おめでとうございました。



旧吉川小で「なないろ朝市」にぎわう

1月27日、旧吉川小学校で「なないろ朝市」が開催されました。吉川小学校は2015年に閉校。太田香代子さん（加津佐町）らが昨年末から同校を拠点に活動しています。「朝市」は生産者と買い物客のふれあいが好評。今後、毎月第4土曜に開催されます。皆さん、ぜひお出かけください。



半島駅伝 深江チームが優勝

1月21日、島原半島の各地区の選手が健脚を競う、第12回島原半島地区対抗駅伝競走大会（実行委員長 南島原市長）が開催され、半島内の10チームとオープンの部6チームがタスキをつなぎました。大会はハマユリックスホール（雲仙市）をスタートおよびゴールとし、市商工会口加統合事務所付近を折り返しとした全長22.4kmのコースで行われ、深江チームが1時間20分55秒の成績で見事優勝を飾りました（オープンの部優勝は創生館高校）。



1月31日 韓国 仁川市 シオン高校40人…口加高校1年生（グローバルコース）



1月31日 中国 東莞市 長安実験中学校57人 南有馬中学校2・3年生
2月5日 中国 西安市 南路小学校46人 有家小学校5年生



2月5日 中国 西安市 南路小学校44人 堂崎小学校4・5・6年生
2月6日 中国 西安市 南路小学校47人 有馬小学校5・6年生



文化財防火デーに合わせ消防訓練

文化財愛護思想の高揚を図ることを目的とする「文化財防火デー」に合わせ、1月26日、県の指定有形文化財の旧長崎税関口之津支署庁舎（現在の口之津歴史民俗資料館）で、消防訓練を実施しました。訓練には、消防団や地元消防署、地域住民約50人が参加し、消火訓練、来館者の避難誘導訓練、放水訓練などを行いました。参加した佐々木利治さん（東大泊自治会）は、「昔、火事を経験したことがある。今回の訓練をいざというときの教訓にしたい」と話しました。



韓国・中国の学生と国際交流

1月末から2月上旬にかけて韓国・中国の修学旅行団がぞくぞくと本市を訪れ、市内5校の小・中・高校生と学校交流を行い、親睦を深めました。交流は、茶道体験や書道や英語の授業へ参加、昔遊び、ソーラン節体験、もうじゅう狩りなど、各校の特徴を活かした活動やお互いに出し物を出し合うなどさまざまなものが行われました。また、給食を一緒に取りながら日本の給食文化を体験してもらう学校もありました。参加者は「言葉はうまく通じない中でも一生懸命コミュニケーションを取りました。わずかな時間だったけどすごく楽しかったです。機会があればぜひ私の国にも遊びに来てください。」と感想を話していました。片言の英語や身振り手振りでコミュニケーションを取りながら交流を深め、それぞれ有意義な交流となりました。



口加高校で環境学習

2月8日、口加高校で環境に関する講演会が行われました。講演では、（一社）おひさまNetながさきの蒲原新一さんが、南島原市で推進している「パッションフルーツの緑のカーテン」やこれを活用した地域活性化の取り組みについて話し、「温暖化対策は「参加」・「続ける」・「つなげる」ことが大切。高校生の皆さんにも、ぜひ、参加して欲しい」と呼びかけました。講演後、松島なすなさん（1年）は、「南島原市の特色を生かした取り組みをしていることがわかった。自分たちができることをやっていきたい」と話しました。